

令和8年度 出雲市社会福祉協議会

会員会費の お願い

つながる ひろがる ささえあう



出雲市社協イメージキャラクター
「いずりん」

出雲市社会福祉協議会（社協）は、出雲市で地域福祉を推進する民間の福祉団体です。子どもからお年寄りまで誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、暮らしの困りごとの解決や公的な制度だけでは対応できない様々な課題に取り組んでいます。このような活動は、皆さまからいただく会員会費に支えられています。本年度も、皆さまの会員会費へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員の種類と会費額について

会員とは

社協の活動に賛同し、地域福祉の推進を資金面から支えていただく方々です。

○一般会員

1世帯 1,000円
(市内各世帯)

○団体会員

1団体 10,000円
(社会福祉法人等団体)

○賛助会員

1口 1,000円
(さらなるご支援として)

一般会員の皆さまの会費につきましては、町内会などで取りまとめのほか、町内会に加入していない方にもご協力をお願いしております。また、個人・法人・企業様等で、団体会員・賛助会員として社協を応援していただける方も募集しています。会員加入及び会費の納入につきましては、下記事務所にお問い合わせください。

社会福祉法人 出雲市社会福祉協議会

出雲市今市町543 電話：23-3781 FAX：20-7733

メールアドレス fukushi@izumoshakyo.jp

ホームページ <https://www.izumoshakyo.jp/>

平田支所 63-4624 佐田支所 84-0131

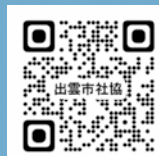
多伎支所 86-2331 湖陵支所 43-2310

大社支所 53-3196 斐川支所 73-9330

社協の活動は「社協だよりいずも」やホームページ等に掲載しています。

また、事業計画及び事業報告等は、社協の本所及び各支所でご覧いただけます。

ホームページ



Facebook



Instagram



社協会費を活用した取り組みをご紹介します

安心づくり

生活の困りごと相談（生活支援課）

生活上のお困りごとについて相談に応じ、生活資金の貸付、食料支援、生活物品の貸し出し、家計改善支援、就労準備支援など、関係機関と連携して支援を行います。

認知症や障がいなどで判断に不安がある方の相談（いずも権利擁護センター）

認知症や障がいのある方などで支援を必要とする方を対象に、日常的な支払いの代行など地域での自立した生活を支えます。また、社協が成年後見人等になり、本人に代わってお金の管理や契約行為などを行います。

高齢者の生活相談（高齢者あんしん支援センター）

介護予防や高齢者の総合的な相談拠点として、高齢者の生活を支えます。

総合相談

複雑化、複合化した生活課題を受け止め、関係機関と連携・協働しながら総合的に対応します。

フードドライブ

生活にお困りの方を対象に皆さまから寄贈いただいた食料品、日用品をお届けしています。

フードドライブ 「ありがとう」メッセージ

ここ最近の物価高騰でみんな大変なのに、食品や日用品をいただける事が本当に有難くて、感謝しています。ここがなければ、まともな生活を送れていないかもしれないとも思います。子ども達には不自由なくしてあげたいです。

皆さん沢山の寄贈をありがとうございます。子どもたちも、本当に有難いねって話をしていました。皆様の温かい気持ちで、「よし！明日も頑張ろう」という気持ちの糧になります。

地域づくり

地域の福祉活動の推進

- ・地区社会福祉協議会や福祉団体、ふれあいサロンへの支援と助成を行い、住民主体の福祉活動を進めます。
- ・子ども食堂やたすけあい活動団体の運営や立ち上げを支援します。
- ・認知症高齢者などの行方不明情報をメール配信し、地域ぐるみで早期発見につなげます。

福祉サービスの提供

視覚に障がいのある方へのガイドヘルパー派遣や、必要な方に無料で車いすを貸し出すなど自宅での生活を支援します。

地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会

地域の福祉施設が協力し、災害時に支援が必要な方を支援する体制づくりやフードドライブなどを通じて、誰もが安心して暮らせる街づくりに取り組んでいます。



ながはま子ども食堂

人づくり

ボランティア活動・福祉教育の推進

ボランティア活動に関する相談やボランティア講座、研修を実施します。また、ボランティア保険の加入手続きを行います。学校や企業で行う福祉教育や障がいのある方への理解を深めるあいサポート運動を推進します。



島根中央信用金庫
福祉体験